

価値創造プロセス

社会の変化

- カーボンニュートラルの実現に向けた社会全体の取り組みが加速
- 体験・共感・タイムパフォーマンスを重視するZ世代向けに、マーケティング活動が変化
- 自動運転/コネクティッド/モビリティビジネスの領域での競争力強化には、進化するデジタル技術が不可欠

ビジョン

モビリティの可能性を追求し、
活力ある社会をつくります

ミッション

1. 独創的な商品と優れたサービスにより、お客様に新たな体験を提供します
2. 社会の持続可能な発展に貢献します
3. 信頼される企業として誠実に活動します
4. アライアンスを活用し、ステークホルダーにより高い価値を提供します

インプット (2022年度)

財務資本	
・総資産	22,015億円
・自己資本比率	36.4%
・フリーキャッシュ・フロー	1,205億円

製造資本	
・設備投資額	786億円
・グローバル拠点	13の国と地域29拠点

知的資本	
・研究開発費	1,072億円

人的資本	
・連結従業員数	28,428人
内 日本	18,847人
アセアン	8,518人
その他	1,063人

社会関係資本	
・社会貢献支出額	416百万円

自然資本	
・エネルギー使用量 (1次・2次エネルギー)	8.2PJ*
・取水量	4,659千m ³

※10の15乗ジュール

影響度の大きいマテリアリティ

- 気候変動・エネルギー問題への対応
- 道路交通事故の削減に寄与する製品の提供
- 製品品質、セールス・サービス品質の向上
- 事業を通じた地域経済への貢献
- 多様な人材が能力を發揮し誇りとやりがいをもって働ける環境の構築
- ガバナンスの強化とコンプライアンスの徹底

中期経営計画“Challenge 2025” 3つの主要なチャレンジ

- 絶対的安定収益基盤の確立・強化
地域成長性を踏まえた各国マーケットのカテゴリー化とそれぞれの地域特性に合った戦略の実行
- カーボンニュートラル対応促進
研究開発費と設備投資の電動化分野への支出割合増加による電動車比率アップ、アライアンス協業強化、事業排出CO₂削減
- デジタル化推進・新ビジネス領域への進出
大変革時代の生き残りをかけたDX、新事業への取り組み加速

コーポレートガバナンス

アライアンス

人権尊重

バリューチェーン

価値創造を支える基盤

アウトプット

	2022年度	2025年度
小売販売台数	834千台	1,100千台
売上高(億円)	24,581	
営業利益(億円)	1,905	2,200
自己資本比率(%)	36.4	45.0

社会

- 道路交通事故の削減への寄与
- お客様に満足いただける品質とサービスの提供
- 事業の展開地域における経済発展の促進
- 能力を發揮できる多様な人材の輩出
- 電動車を活用した電力供給システムなどの災害対策施策の推進

環境

- カーボンニュートラルへの貢献

	2022年度	2030年度
新車平均CO ₂ 排出量(Tank to Wheel) (2010年度比)	-18%	-40%
電動車販売比率 (2035年度)	11%	50%
事業活動CO ₂ 排出量 (スコープ1)	95千t-CO ₂	
(スコープ2)	271千t-CO ₂	
(スコープ1, 2総量)	-33%	-50%
(2018年度比)		

モビリティ

- バッテリーリユースやエネルギーマネジメントサービス等の提供



提供価値

「三菱自動車らしさ」

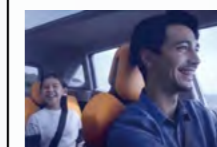
「環境×安全・安心・快適」に
裏付けられた信頼感により、
冒険心を呼び覚ます
心豊かなモビリティライフの提供



環境に優しく自然に
寄り添い行動できる



働くクルマでカーボン
ニュートラルに貢献する



誰もが自信をもってワクワク
する冒険を体験できる



どんな冒険からも家族と一緒に
無事に帰ることができる



災害や停電時等いざと
いう時に頼れる・役立つ